**アンケート・ピックアップ**

**7月14日　株式会社スクールウィズ　代表取締役　太田　英基　氏**

**問１　学んだこと、印象に残った言葉、講師へのメッセージ**

　「日本がヤバいではなく、世界がオモシロイから」という言葉の意味が、講義のあとストンと腑に落ちました。日本人は、パスポート取得率が低かったり、海外在留日本人がとても少なかったりする背景があると仰っていましたが、私の周りでも、海外に行った人たちは、いまだに自慢げにその話をします。それは、日本人にとって海外がまだまだ「special」な存在であるからだと思います。私は学生の間に留学をしたいと思っています。１年を考えていますが、正直とても不安です。しかし、今日太田さんのお話を聞いて、「世界の人と向き合えないなら、世界で生きる私にはなれないな」と強く思いました。自分が海外でおもしろいと思ったものを日本に持ち帰るだけでビジネスにできるというのもすごく面白いなと思いました。太田さんのように、２年間の間様々な国をまわるほどの勇気はないのですが、自分が行きたいと思っている国（オーストラリアなのですが）に留学して、「世界のリアルを身を持って体感」し、自分が海外に行くことで「世界を舞台にすることが当たり前になる社会」に少しでも日本が近づけばいいなと思います。（経営学部・経営システム科学科１年）

Future…世界で活躍できる人間に　Mast…語学力、世界に友人、世界を知る　What…世界一周旅行　Must＋Want＝Bestという式がとてもしっくりしました。そして、自分だったらどうだろうと考えたときにまだポンっと短い言葉で表すことが出来なせん。なので、これをしっかりわかるためにも、色々なことを知るっていうことも良いのではないかと思えました。というのも、太田さんが海外に行かれた話を聞いて、なるほど。しっかり行ってみないとわからないことがあるし、行ってみて道が見えてくることがみえてくることがたくさんあるのだと思えたからです。そして、様々な態度が身についたり、コミュニケーション能力が育ったりするのでは。と考えられます。新興国や東南アジアにとても興味があり、来年の夏休みに、東南アジアを巡ってみようと考えています。なるべく本当の姿を捉えられるように、たくさんのことを吸収し、自分が将来やりたいことに近づけるように無駄にしない時間を過ごしていこうと思います。（経営学部・経営学科１年）自分がいつもいる環境とは違う環境にいる人たちに価値観を塗り替えられる時間ほど貴重な時間はないと思います。　どこで働きたいかの話で私たちはどこの企業で働きたいかを考えがちな中、太田さんが出会った若者たちがどこの国で働きたいかのスケールで話をしていて衝撃を受けたと聞いて、自分も今の自分がいる環境で見出せる価値観で満足していていいのかなと思うようになりました。本日はありがとうございました。（経営・経営システム1年）

今日の講義で一番印象に残ったのは「数字をそのまま受け入れない」ということです。出てきたデータをそのまま受け入れるのではなく、一度疑ってみることで、新たな価値観を持つことができたり、視野を広げることができたりすることができ、考えが深まるのだろうなと思います。一番最初のクイズの結果には驚きました。日本人はもっと多くの人がパスポートを所有していると思っていました。海外在住の日本人の数が少ないのは過去に海外でホームステイしていたときに感じました。どこに行っても、中国人か、韓国人？と聞かれ、自分は日本人だというとリアクションが薄かったからです。日本人はもっと海外に目を向けるべきだと思いました。(経営学部・経営学科・1年)

今回の講義はもし第1回の講義であったらとても刺激的だったと思うが、今回は実践性に欠けたやや抽象的で方向性だけの話に感じた。これは授業を通して私が変化した結果かもしれないし、あるいはただ単純に感性の違いかもしれない。一時期はこの授業をより長く受けて、講師を皆平等にとらえ比較することが面白いだろうと思っていたが、今ではこの考えは非常に危ないと感じる。いくつかの考え方に絞り、常に実際の社会の中で実践して学び取りたいと思った。（経営・国際経営・１年）

本日は講演ありがとうございました。私は来年、留学を本気で考えていたので、今日の内容は興味深かったです。日本はせっかく良いモノはつくれているのに、それを届けるヒトがいないというのを聞いて、やっぱり留学して言語能力、コミュニケーション能力を高めていかないといけないなと思いました。どこでやるかを最初に決めるのではなく、自分のアイデアがどこの、誰が必要としているのかを最初に考えて、そこでビジネスをするというのと、自分の頭の中の日本地図を世界地図に塗りかえるという言葉は印象に残りました。そして、それを受けて留学界にイノベーションを起こそうとして起業するというのは素晴らしいと思いました。今日の話を聞いてますます留学したくなりました。Buy1, Get 1 freeやアイスクリームおじさんなどの話も面白かったです。ありがとうございました。（経営・経営システム１年）

　太田さんは自分が思ったり考えたりしたことを、すぐに行動に移して行けているのが、素晴らしいと思いました。大学時代の中では、何かやらなきゃと思ってから、インターンなどを始めていったり、起業したり、そして仕事をやり始めてからも改めて自分の将来を考えて、今やるべき、やりたいことを見つけ、実際に世界一周旅行に行っている行動力が、次々と新しいことをやるきっかけになっているのではないかと思いました。また、将来なりたい自分とそのために今やるべきことを考えたら、そのやるべきことだけを考えてしまうと思うのに、そこにやりたいことだけを考えてしまうと思うのに、そこにやりたいことを考えて、やりたいことをやる中で、なすべきことをやるという、must＋want＝bestという考え方がとても面白く、大事だと思いました。さらに、「どこで、だれが、何を必要としているのか」を考えることが本当にグローバルに展開することという言葉が、私にとっても心に残って、世界のリアル自分の目や耳で感じていくことが世界を舞台に働くためにとても大事なのではないかと思いました。(教育人間人間文化１年)

日本が様々な新興国に追いやられているのは人数の面で戦えていないのと、営業、マーケティングなどの文系の面で負けてしまっているということだったので、文系の私が営業やマーケティング能力を身に着けて海外を舞台にしていくことが必要なのだということを実感しました。（教育人間・人間文化・１年）

“must + want = best”という考えは今後の大学生活を送る上で方向性を決めるのに大切なものだと感じました。また、太田さんの海外旅行の話を聞いて、非常に海外旅行・留学に興味を持ちました。フィリピン留学という話はあまり知りませんでした。欧米に留学するのが主流であるのだと思うのですが、フィリピンという選択肢もあるのだと思いました。私自身は春休みにシンガポールに行ったのですが、思った以上に栄えており、東南アジアへの印象が変わりました。アジア系ばかりなのに英語を話す人が多かったので（公用語なので当たり前な感じですが）驚きました。夢のために努力するなら頑張れそうだと思いました。海外の若者の就職や転職は国境の垣根がますます低くなっているため、世界規模になっているのは、時代が変わってきているのだと感じました。これからやりたいことを世界規模で考えていきたいと思います。（経済学部　経済システム学科　1年）

私は中学2年の夏にフィリピンのセブ島へ行きました。セブはリゾート地であり、比較的治安が良いと聞いていましたが、街中には多くのストリートチルドレンと呼ばれる子どもたちがたくさんいます。バスが一時停車すると、幼い子供が薄汚れた果物を売ろうと必死に窓ガラスをたたくのです。ストリートチルドレンとなる子どもの多くは、貧困によるものだそうです。貧困問題というのは非常に難しい問題で、解決することが出来るのかさえ分かっていません。私は、この問題（主に途上国の子どもたちが、貧困が原因で飢餓や教育などの問題に直面していること）について、これから学んでいきたいし、何かできることを見つけていきたいと思っています。でも、ストリートチルドレンに出会ったときの衝撃や複雑な感情だけが先走っていて、実際無知なだけでなく、言語能力も極めて低いです。太田さんの18歳の頃と同じような感じです。本日の講義を聞いていて、頭で考えて、文献で調べて、レポートや作文で発信しているだけの今の自分では結局思いだけで終わってしまうと思いました。世界各地をまわり、語学をはじめ多くの経験が得られる留学はアリだと思いました。（経済学部　国際経済学科　1年）

**問２　今後のアクションに繋げていきたいこと**

　太田さんの講義を受けて今の大学生活の過ごし方を反省した。変わりたいと思ってこの大学に頑張って入ったのに、今の自分は何にも挑戦してないし、その意識が既に薄れていると強く思った。この時期だからできることが沢山あると改めて感じた。そして、自分が能動的に動くことで、やりたいこと、目標を見つけるきっかけになるのだと思えた。探さなきゃ見つかるものも見つからない。（経営・経営１年）

今日の講義の影響がメインなわけではないが、今はTrunkのプログラミングの講義に夢中なのでそちらで専門性を磨こうという思いを深めた。しかし英語を後回しにしようという考えは捨てようと思った。（こちらは今日の授業の強い影響）（経営・国際経営１年）

　これまでは起業や経営することを考えていましたが、今は入った企業で仕事の幅を広げたいと思っています。たとえばスポーツウェアのブランドへ入って、格安の値段で途上国へも販売できる戦略を考える、ジュースを販売するメーカーへ入って、いろんな国の飲物を研究して込まれそうな製品を考えるなど、選択肢はたくさんあると思います。また、必要があれば起業してもよいと思います。今回の講義を聞いてますます海外へ行動を広げていきたいと思いました。（経営・国際経営一年）

**授業スタッフの感想１**

話されていたグローバル化についての話にとても興味を持ちました。ただ日本で流行ったものを世界へと発信していくのではなくその地域に合わせて物事をかんがえアイディアを出したり、ある地域で行われているサービスを他の地域に提供するというのも立派なグローバル化だなと思いました。

　あと、「MUST＋WANT＝BEST」という公式を聞いてもし自分のやらなくてはいけないことも自分のしたいことへと置き換えて自分に合った形で達成していきたいです。